

< 日本進出本格化...東京で初の公式的事業説明会 >

韓国のリーガルテック企業ローアンドカンパニー 日韓スタートアップ連携フォーラムに出席 “日本市場への進出發表”

- “日韓財界、スタートアップの育成で協力”...経団連・韓経協が2日、東京でフォーラム開催
- ローアンドカンパニー韓国のリーガルテック代表として出席...“目標は、法律AIサービスにより日本市場に進出すること”
- 3月の新経済連盟との面談に続き日本進出に拍車かかる“国内のB2Bセールスネットワークを有するパートナー探し”

(2024/04/03=Law&Company)韓国のリーガルテック企業、ローアンドカンパニー(Law&Company)が日本市場への進出を本格化する。ローアンドカンパニーのキム・ボンファン代表取締役は4月3日、東京の経団連会館で開かれた「日韓スタートアップ連携フォーラム」で、日本の主な公的機関及び大企業、CVC(大企業ベンチャーキャピタル)を対象に初の公式的な事業説明会を行ったことを明らかにした。

▶ 日韓経済界・産業界、スタートアップ中心の相互協力の在り方を模索

「日韓・韓日未来パートナーシップ基金」が主催し、日本経済団体連合会(経団連)、韓国経済人協会(韓経協)が支援する日韓スタートアップ連携フォーラムは、2日、東京の経団連会館で開催された。同フォーラムには、ローアンドカンパニー及びブリートン(wrtn)、アリコーン(Alicorn)、コロセウムコーポレーション(Colosseum Corporation)等、日本への進出を希望する韓国のスタートアップ企業10社が参加した。日本側からは、日本貿易振興機構(JETRO)及び伊藤忠商事、三井住友銀行、帝人等、日本の公的機関や銀行、大企業等計11社が参加し、韓国のスタートアップ企業への投資を検討、相互協力の在り方を模索した。

同フォーラムを主催した日韓・韓日未来パートナーシップ基金は、両国の財界を代表する経団連と韓経協が次世代への交流と産業協力を目標に、去年3月発足した財団で、同フォーラムもスタートアップの育成や協力拡大の必要性に両国の経済界が意見を合わせるために開催された。

▶ ローアンドカンパニー(キム・ボンファン代表取締役)“韓国代表として出席...‘AI法律秘書’サービスで挑戦”

キム・ボンファン代表取締役は、「両国の経済交流を深める意義深い場に韓国のリーガルテック企業の代表として招待され光栄だ」とし、「苦難もあったが法律サービスの進展と大衆化に取り組んできた努力を認められたようで嬉しい」と感想を述べた。また、「代表サービスであるロートックは、韓国国民が毎年、5780万分以上使用し、公開後120万件の法律相談が行われている『国を代表するプラットフォーム』に成長した」と発表し、「ロートック、AI法律サービス(ビックケース)に続いて、6月に発売予定のAI法律秘書『スーパーロイヤー』が商用利用することになれば、ローアンドカンパニーは総合リーガルテック企業へと飛躍する展望だ」と述べた。

また、「韓国トップのリーガルテック企業という成果を果たしたローアンドカンパニーの次の目標は、日本市場への進出だ」とし、「法律のシステムが韓国と似ている日本の法律市場においても、『AI 法律秘書』スーパーロイヤーの競争力を明らかに証明したい」と意気込みを見せた。

▶キム代表“日本内のセールスネットワークを有するパートナーと協力を求め”... “ソフトバンク・楽天も面談予定”

発表直後、現場で行われた「1:1 ネットワークミーティング」にてローアンドカンパニーは、日本内のセールスネットワークを有するパートナーの確保に多くの時間を割いた。キム代表は、「今後、ローアンドカンパニーは、『韓国のリーガルテック輸出 1 号企業』である同時に、両国のリーガルテック発展の架け橋となる」と述べ、「本日を機に、韓国トップのリーガルテック企業というビジョンをアジアトップのリーガルテック企業へと拡大したい」と抱負を述べた。

ローアンドカンパニーは、今日、ソフトバンクと楽天グループの関係者と面会する。この場でキム代表は、法律 AI の開発など、ローアンドカンパニーの技術力及びグローバル進出計画等について説明し、日本の法律市場に向けた具体的な協力の在り方を模索する予定だ。

▶ローアンドカンパニー「DX 総合 EXPO」参観及び新経済連盟と面談等日本財界との交流大幅に拡大中

一方、今年に入ってローアンドカンパニーと日本の経済界との交流は一層活発になっている。先月中旬には、新経済連盟の関係者らがローアンドカンパニーを訪問し、経営陣と日本進出について面談を行った。同連盟は、楽天グループが会長を務めている日本の革新産業団体である。同連盟は、今回の訪問を機に、韓国のベンチャー企業協会と合同ビジネスプログラムや定期交流会を推進するなど、引き続き協力を強化する予定だという。

同フォーラムに先立って、ローアンドカンパニーは 2 月、日本最大規模の DX (デジタルトランスフォーメーション) 博覧会「DX 総合 EXPO」に参加し、現地企業と積極的に交流を行った。キム代表は、弁護士ドットコム、リーガルオンテクノロジーズなど日本の代表的なリーガルテック企業関係者に現場で会い、グローバルの法律 AI 技術の現状を共有し、日本を始めグローバル進出への多様な戦略について話し合った。

<資料の問い合わせ>

(株)ローアンドカンパニー広報チーム ソ・ドンヒョンチーム長

+82 2-3477-0622 / +82 10-2941-1979 / dh.seo@lawcompany.co.kr

パク・ガヨンマネージャー +82 2-3477-0622 / +82 10-9077-8275 / gy.park@lawcompany.co.kr

シン・ダソムマネージャー +82 2-3477-0622 / +82 10-9911-9223 / ds.shin@lawcompany.co.kr

< ローアンドカンパニー (Law&Company) >

ローアンドカンパニーは金本桓(キム・ボンファン)代表と共同創業者の鄭載聖(チョン・ジェソン) 副代表が大韓民国 法律市場の大衆化、先進化を目指して設立したリーガルテックスタートアップであります。法律総

合ポータル「ロートーク (Lawtalk) 」と AI 法律情報サービス「ビッグケース (Bigcase) 」を運営しており、今年上半期に B2B SaaS 「スーパーロイヤー」のリリースを控えている。

<企業の現状>

- 会社名：ローアンドカンパニー (Law&Company)
- 代表：金本桓 (キム・ボンファン)
- 主なサービス
 - ・ロートーク <https://www.lawtalk.co.kr>
 - ・ビッグケース <https://bigcase.ai>
- 住所：ソウル市江南区テヘラン路 420 KT 宣陵タワー West 19 階
- ホームページ：ロートークエックス <https://lawtalk.is>
- 沿革:

日付	主な内容
2012.07	株式会社ローアンドカンパニー法人設立
2014.02	法律総合ポータル「ロートーク」リリース
2016.12	SK グループ 「社会成果インセンティブプログラム」対象企業 選出
2018.12	法律専門マスコミ 「ロートークニュース」 リリース
2019.06	約 140 億ウォン規模のシリーズ B 投資誘致
2020.11	量刑予測サービス開始
2021	約 230 億ウォン規模の Pre-シリーズ C 投資誘致 (累積投資額 400 億ウォン)
2021.07	中小ベンチャー企業部主管 「2021 年度予備ユニコーン特別保証参加企業」 選出
2021.07	キャリア情報サービス 「モドゥン弁護士」 リリース
2021.09	量刑予測サービス終了
2021.10	法務ソリューションプラットフォーム 「ロートークビズ」 リリース
2022.01	AI 法律情報検索サービス 「ビッグケース」 リリース
2022.03	「2022 アジア太平洋高成長企業トップ 500」 選出 (法律部門 2 位) *英国経済紙 Financial Times 及びグローバルリサーチ機関 Statistar 選出
2022.11	消費者団体 「コンシューマーウォッチ」 主催 「2022 消費者権益大賞」 企業部門 受賞
2023.01	韓国人工知能協会 「2023 KOREA AI STARTUPS」 便覧法律部門 登録

2023.11	「2023 大韓民国 IT サービス革新大賞」行政安全部 長官賞 受賞
2023.12	第 18 回大韓民国インターネット大賞 社会貢献部門 国務総理賞 受賞 2023 年ベンチャー創業振興 有功褒賞 ベンチャー活性化企業部門 中小ベンチャー企業部 長官表彰
2024.06	弁護士のための法律 AI アシスタント「スーパーロイヤー」リリース（予定）

<主なサービス>

ロートーク：毎月 130 万人の利用者が訪れ、月 2 万件以上の相談が行われる国内を代表する法律総合ポータル。

- ・ 2014 年リリース。弁護士と依頼者が自由にコミュニケーションできる空間を提供し、誰でも簡単に法律サービスを利用できるように支援する韓国 1 位の法律ポータルに成長（2022 年 累積訪問者数 2300 万人）
- ・ 依頼者は、ロートークで弁護士検索など、法律に関するあらゆる情報を検索し、事前相談を通して必要な分野の弁護士を探し、問題を解決することが可能。
- ・ 弁護士は、得意分野を生かし、かつ自身の地域の依頼者に会うことが容易に。
- ： 2024 年 2 月末現在の累積法律相談件数は約 114 万件。

ビッグケース：国内最高水準の AI 技術力と国内最多の判例（443 万件）データを結合したシステムにより最適な法律情報検索を実現。

- ・ 2022 年リリース。AI 基盤の統合法律情報サービスとして、国内すべての法令と決定例、有権解釈、各級裁判所の判例など 443 万件のデータを最先端 AI 技術を通じて迅速かつ簡単に検索することが可能。
- ： 2024 年 2 月末現在、裁判所、検察などの機関と弁護士、ロースクール生、警察、弁理士、ジャーナリストなど約 3 万人の会員が使用中。
- ・ 近年サブスクリプション型有料サービス「ビッグケース Plus」をリリース。

このサービスは会員弁護士会員を対象に、注釈書、有料論文など幅広く質の高い実務法律情報を無制限で提供すると共に個別の犯罪に対する判決量、刑期別比重、期間別推移などの情報を視覚化して提示する「ビッグケースグラフ機能」を提供。

スーパーロイヤー：生成 AI 技術を使用した未来型サービスで、弁護士業務の効率を飛躍的に向上させる弁護士向け B2B SaaS ソリューション。

- ・ スーパーロイヤーは生成 AI 技術を基盤に LLM（Large Language Model）、Fine-tuning、RAG（Retrieval Augmented Generation）、Prompt Engineering などの技術要素を統合的に組み合わせた法律実務に最適化されたモデル。3 月中に β 版リリース、6 月中に正式リリースを目標としている。
- ・ 弁護士が▲法律リサーチ ▲法律文書の草案作成 ▲法律文書の要約及び争点整理などを行えるよう、多数の機能を搭載する予定。
- ： 弁護士業務の生産性と効率性を飛躍的に向上させることが可能

▷イメージ図1. 日韓スタートアップ連携フォーラムの現場



4月2日午後、東京所在の経団連会館で開かれた「日韓スタートアップ連携フォーラム」にて参加者らの団体写真。(後列右から2番目がローアンドカンパニのキム・ボンファン代表取締役)

▷イメージ図2. 日韓スタートアップ連携フォーラムの現場



4月2日午後、東京所在の経団連会館で開かれた「日韓スタートアップ連携フォーラム」にてキム・ボンファン代表が日本の主な公的機関・大企業・CVC(大企業ベンチャーキャピタル)の前で初の事業説明を行っている。



▷イメージ図 3. ローアンドカンパニーのキム・ボンファン代表取締役



▷イメージ図 4. ローアンドカンパニーのロゴ



###